

# 宮城野げんきっこだより 12月号



令和6年12月18日発行

箱根教育 合言葉

～箱根を愛し・かしこく・やさしく・たくましく～

大文字山から見えた景色は…最高でした！いつも下から見上げた大文字山。「大」の文字の上に立っているという感覚が持ちづらけれど、登っても登ってもつぺんが見えない絶望感を乗り越え、全員頂上に立つことができました！雪化粧の富士山を見たさくら組は「こんどあそこいきたい！どうやっていくの？」と意欲満々でした。自信をつけたさくら組、今度はぜひ、日本のつぺん目指して！

## ★サンタさん宮城野保育園にやってきた！★

保護者の方をお招きして、日ごろ子どもたちの表現活動を楽しんでいる様子を見ていただきました。3歳児は空想の世界で遊ぶことが好きでなりきり遊びを楽しみました。4歳は、誕生会で見た「3匹のヤギのらがらどん」でヒントを得てなりたいもので表現を、5歳児は2学期にクラス皆で楽しんでいたものを「レゴの世界」の中で表現し楽しみました。緊張や当日の雰囲気の違い等あり、いつもとは違う姿になっている子どももいました。子どもが感じたこと、「もっとこうすればよかった」「きんちょうするってこういうことか」等全てが経験となり今後のその子の力となると思います。

懇談会でもお伝えさせていただきましたが、保育の中で大事にしていること

- ①保育者主導の一方的な保育ではなく、環境を通して自ら考え子どもが主体的に活動していくこと。
- ②「させる」活動は子どもの主体性を奪うということから、一方的な教え込みの保育を大事としない。
- ③「もっとこうしたら」という考えを伝えず、子どもが自らの体験で気づけたり、見たり聞いたりしたことから工夫することを大事とします。いかに日頃の体験を通して感じていくか、言葉にしてもらい、自分のものとするかが大事ということが分かります。
- ④子どもから「考える」ことを奪わないように、安易に答えを伝えるまたは大人がしてほしい方へ誘導をしない。そして保育の組み立ては、子どもの興味関心が軸です。これからも日頃の保育を大切にしていきたいです。



子ども達は、郵便局から届いたサンタポストに手紙を沢山書いて、欲しいものをアピールし、素朴な疑問でどこに住んでいるのか、はさみは使えるのか等自分の目線で質問を投げかけていました。一つ一つ丁寧に答えてくださるサンタさん。「サンタさんはグリーンランドからきてくれた」とさくら組。来年も世界中の子ども達のために…また会いたいです！

## 箱根の森小5年生ありがとう！

運動会で一緒に活動した仲間として学校に招待をいただき、体育館で5年生が考えた遊びを楽しみました。あまりの楽しさ、5年生の優しさを体験したさくら組は帰り際、離れられず。「1年生になるのがとても楽しみ！」と言っていた子ども達です。



令和6年度も宮城野保育園の子どもたちは皆様のお力添えで心温まる毎日をご過ごせました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。少し早いですが良いお年をお迎えください。